



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 12 (平成29年6月24日発行)

佐高 インスパア ファイル

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】 第3期派遣留学生

松崎ののかさん(2年1組)が、平成29年度官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」の派遣留学生に採用されました。応募総数1904名中501名(栃木県では7名)という狭き門をくぐり抜け、**日本代表**として留学します。(留学に必要な経費が支給されます)

松崎さんは、留学先で**インターンシップ**(職業体験)を行う**プロフェッショナル分野**(49人)で採用されました。夏休み中の7月23日から8月20日までの約1ヶ月間、南ヨーロッパにある歴史と観光の国**マルタ共和国**(以後はマルタと表記)の首都ヴァレッタで、現地の旅行会社でインターンシップを行います。マルタ島の様々な観光地について調べたり、オフィス勤務を通して、いろいろな国籍の従業員とコミュニケーションを取りながら、日本にマルタの事を広めたり、マルタに日本のことを知ってもらおう業務を担当するそうです。



「日本と世界の架け橋になるために」 ～ 松崎さんにインタビュー

Q1 なぜ、マルタに留学しようと思ったのですか？

→ 私は高1で実施したSGHの課題研究で「**2020年へのおもてなし**」というテーマで、6人のメンバーと中国人の留学生と一緒に、半年間、研究を行いました。夏休み中には、佐野市国際交流協会にお願いして、佐野市に住むベトナム、タイ、アメリカなど様々な国籍の外国人20名ほどにインタビューを行いました。また、実際に佐野市内を歩いてみると、ローマ字表記が少ないことや、コンビニで無料Wi-Fiを使うことができることが気づきにくいことなど、外国人にはわかりにくいことが多いということがわかりました。

• この研究がきっかけとなり、外国人観光客が日本を訪れるとしたら、東京や京都などの有名観光地以外にどんな場所に行きたいと思うか、どんなおもてなしが魅力的なのかを外国の観光地で調査してみたいと思うようになりました。

• そこで、ヨーロッパ有数の観光地で世界遺産にも指定されている**マルタ**に興味を持ちました。

SGH 成果発表会での口頭発表(2016.12.20、右端)→



Q2 マルタでは、どのようにすごすのですか？

- 午前中は英語のレッスンを受け、午後は**地元の旅行業者** (ISON Ltd)でインターンシップを行います。この旅行業者は、日本、アジア、ヨーロッパ諸国、東欧諸国を中心に、マルタでの個人、パッケージ旅行の取り扱いをしています。日本からの旅行者へ日本語通訳、日本人ガイドなどの手配も行っています。インターンシップでは、旅行業者のブログのアップやオフィスの掃除、資料の作成など、**オフィスのお手伝い**を行う予定です。
- ・私は、将来、訪日外国人専門の旅行会社で働きたいと考えているため、留学先の語学学校で様々な国の留学生と共に英語を学びながら、異文化理解を深め、インターンシップ先では、旅行会社の仕事を実際に体験して学びたいと思います。また、自主活動として、ホストファミリー、語学学校、現地の人々に**インタビュー**を行います。日本に来たことのない方々が、日本にどのようなイメージを持っているか、日本に来たことがある方々は、日本に来てどのような印象を持ったのか、などについて調査する予定です。そして、私の知っている日本について紹介することで、**少しでも世界に日本の魅力を広めたい**と考えています。



マルタ共和国の地図
(出典 business.nikkeibp.co.jp)



マルタ共和国の首都ヴァレッタ
(出典 www.caravan-travel.co.jp)

Q3 どのようにして「トビタテ！留学JAPAN」に採用されたのですか？

- 応募書類として**留学計画**を作成します。いつ、どここの国に行き、そこで達成したい目的や、様々な活動を行う際のテーマを決めます。私は、「**日本と世界の架け橋になるために**」をテーマにしました。
- ・まず、**書類審査**があり、それが通ると**面接審査**がありました。面接審査では、**SGH課題研究**での成果をアピールしました。5月に採用の結果が届きました。語学力があるかどうかは重要ではなく、やりたいことがはっきりしていて、夢を語れる人が選ばれたそうです。



- ・6月10日(土)には、文部科学省内で、文部科学大臣が列席する**社行会と事前研修**が行われました。皆とてもフレンドリーで、スゴイ人たちがばかりでした。

Q4 最後に、留学への意気込みを聞かせてください。

- 私が行くマルタ共和国は、世界遺産やきれいな海など、観光資源のとても多い国ですが、日本ではあまり認知度が高くありません。そのマルタを日本に広めること、また、日本をマルタに広めることを目標に、1ヶ月頑張りたいと思います。そして、将来は日本と世界の架け橋になりたいと思います。

